

防災・減災のページ

集い重ね 思い結束

むすび塾 その後

参加者が東日本大震災の体験を振り返り、備えについて認識を共有した巡回ワークショップ「むすび塾」。

名取市関上上町町内会まで15回を数える。進行役の木村拓郎減災・復興支援機構理事長のアドバイスや、話し合いから生まれたアイデアを基に、さまざまな防災・減災の取り組みが動き出した。



一合での協議會(左から右)は、話し合いの成果をまとめる。

仙台市青葉区荒巻地区

仙台市青葉区荒巻地区。昨年11月、社会福祉協議会と民生委員15名、民生委員を代表して、荒巻地区の防災対策を協議する。荒巻地区は、震災の被害を受けた...

要援護者 全員で支える



無線機を常備 孤立防ぐ

本日は、津波被害で、孤立を防ぐための無線機の常備について、岩沼市・南浜中央病院の職員が無線機を常備する...



病院に常備した無線機を使う南浜理事長(右から2人目)ら

宮城県女川町桐ヶ崎仮設住宅団地



非常用持ち出し袋の中身の説明をする鈴木さん(右端)

非常用袋充実 増す安心

宮城県川内町の桐ヶ崎仮設住宅を参観し、必要物を、今は池を掘り、仮設住宅に非常用袋を準備しようという。津波は、津波の被害を受けた、津波の被害を受けた、津波の被害を受けた...

